

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
成人老年看護学実習 I	2 単位 (90 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	3 年全期

【学習目標】

対象の生活スタイルや健康問題の捉え方を考慮し、セルフケア能力に応じた日常生活への支援とセルフマネジメントに向けた援助ができる

【学習活動】

- 1 健康レベルの特徴をふまえ、健康問題をもつ患者を理解する
- 2 患者の健康の維持・拡大に向けて、個別性を重視した支援を実施する
- 3 患者・家族の意志を尊重し、看護者として誠実に対応する
- 4 保健医療福祉チームの一員であることを認識し、報告・連絡・相談の必要性を考えながら行動する

【授業の進め方】

患者受け持ち制による看護実践

- 1 実習オリエンテーション (90 分)
- 2 実習準備 (90 分)
- 3 臨地実習 7 時間×12 日間
臨地オリエンテーション
日常生活援助の見学・一部介助
受け持ち患者・家族についての情報収集と整理
受け持ち患者のアセスメント・全体像の把握
受け持ち患者の看護問題の抽出・整理
受け持ち患者の看護計画立案・実践
病棟看護師・薬剤師・栄養士等による教育的支援の実際の見学
関連職種とのカンファレンス等の見学・参加
実施した看護についてのカンファレンス、テーマカンファレンス
まとめのカンファレンス (最終日)
- 4 学びの共有 (90 分)
- 5 学びの共有発表会 (90 分)

【授業スケジュール】

臨地実習 (学内日を含む) 12 日間

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

実習評価表に基づき評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
老年看護学実習	2 単位 (90 時間)	松沢 土子 (臨床経験 26 年)	3 年全期

【学習目標】

高齢者の加齢変化に加え疾病による健康問題を理解し、日常生活自立に向けた個別性のある看護実践ができる基礎的能力を養う

【学習活動】

- 1 加齢に伴う心身の変化と健康問題をもつ患者を理解する
- 2 加齢に伴う機能低下をふまえ、QOL 向上を目指した看護を実践する
- 3 対象を尊重し、理解しようとする態度で関わるができる
- 4 患者と家族を支える保健医療福祉チームの協働の実際を知り、看護の役割を理解する

【授業の進め方】

患者受持ち制による看護実践

- 1 実習オリエンテーション (90 分)
- 2 実習準備 (90 分)
- 3 臨地実習 7 時間×12 日間
臨地オリエンテーション
初期情報の解釈に基づく日常生活援助の実践
援助場面での観察や生活機能に焦点をあてた患者把握
心身の機能低下から起こりうる事故や合併症を予測した援助の実施
患者の全体像の把握・看護問題の抽出・整理
その人らしい生活を支える看護計画作成・実施
関連職種とのカンファレンスを見学・参加し、グループ内で共有
(リハビリカンファレンス・退院調整カンファレンス・ACP カンファレンス等)
実施した看護についてのカンファレンス、テーマカンファレンス
まとめのカンファレンス (最終日)
- 4 学びの共有 (90 分)
- 5 学びの共有発表会 (90 分)

【授業スケジュール】

臨地実習 (学内日を含む) 12 日間

【教科書】

系統看護学講座 老年看護学 医学書院
実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

実習評価表に基づき評価

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
精神看護学実習	2単位 (90時間)	ペタス 裕子 (臨床経験 16年)	3年全期

【学習目標】

精神障害をもつ人への理解を深めるとともに、自己を理解し自己活用することができる能力を養う

【学習活動】

- 1 実習の目的・目標を達成するために自主的に実習に臨む
- 2 精神障害をもつ対象者を理解することができる
- 3 対象者に寄り添って関わることができる
- 4 精神障害をもつ対象者に関わる自分を洞察し、自己の思考・感情の動きに気づける
- 5 精神疾患をもちながら地域で暮らすということについて考えられる
- 6 体験を振り返り精神看護について考えられる

【授業の進め方】

- 1 実習オリエンテーション (90分)
- 2 実習準備 (90分)
- 3 精神科病棟実習 7時間×9日間
臨地実習オリエンテーション
受け持ち患者の情報収集と整理
精神障害をもつ対象者との関わり・再構成
情報に基づく日常ケアの実施
情報をもとにアセスメント
中間評価・面接
個別の看護計画作成・実施
まとめのカンファレンス (最終日)
- 4 小規模作業所 7時間×3日間 (1日学内日含む)
臨地オリエンテーション
社会復帰を目指す支援の実際
コミュニケーション
まとめのカンファレンス
- 5 学びの共有 (90分)
- 6 学びの共有発表会 (90分)

【授業スケジュール】

臨地実習 (学内日を含む) 12日間

【教科書】

実習内容に関連する教科書

【参考書】

学習内容関連書

【評価方法】

評価表に基づき評価